

平成 30 年消防事情

■平成 30 年中の出動件数

種類別出動件数			
	火災(前年比)	救急(前年比)	救助(前年比)
管内(三島/裾野/長泉)	41件(-17)	8,826件(+135)	85件(-14)
うち三島市	19件(-10)	5,011件(+45)	42件(-14)

救急車の適正利用にご協力をお願いします。

救急車を呼ぶべきか迷ったら、
全国版救急受診アプリ「Q助」などをご利用ください。



■三島市の救急統計

事故種別出動件数		搬送人員 4,393人(+61)	
急病	3,109件(+16)	死亡	42件(-6)
一般負傷	722件(+19)	重症	516件(-3)
交通	331件(+14)	中等症	2,116件(+171)
その他	849件(-4)	軽症	1,719件(-100)

年齢別	
新生児	0人(-2)
乳幼児	135人(-43)
少年	156人(+38)
成人	1,351人(+3)
高齢者	2,751人(+66)

■三島市の火災統計

火災種別件数	
建物火災	12件(-6)
車両火災	3件(+2)
その他火災	4件(-6)

建物火災の主な発生原因は「こんろ」からの出火で、建物火災の50%を占めています。
火の取り扱いには十分ご注意ください。



▲写真はイメージです

新消防庁舎を裾野に建設
三島市、裾野市及び長泉町の消防広域化に伴う消防力の適正配置を図るため、また市町住民の皆さんに等しく消防・救急サービスを提供し、地域間格差を是正するため、新たな消防庁舎の建設を進めています。
この消防庁舎は、地域のほぼ中央(裾野市伊豆島田)に位置し、重要な拠点施設の1つとして消防自動車や救急車の配備を予定しており、2020年から運用開始を目指しています。

自らの命は自らで守る！自らの地域は皆で守る！

防災

“3.11”から8年

意外と知らない

避難所の世界

災 言時に避難する小中学校などの避難所は、お住まいの場所によって、あらかじめ決まっています。QRコードから確認しましょう。



Q 地震が起こったとき、みんな避難所に行くの？

A 倒壊や火事などで、自宅では生活できなくなった人が避難します。自宅が無事であれば、避難所へ行く必要はありません。まずは、耐震診断や身の回りの家具の固定、7日分の水食糧の備蓄など、できることから備えておきましょう。

Q 避難所は誰が開設、運営するの？

A 自治会・町内会が中心となり避難所を開設、運営します。各避難所に派遣する市職員は、運営をサポートします。

Q 高齢者や女性への配慮はどうなっているの？

A 要配慮者居室、女性用更衣室、女性専用スペースなどが居住スペースとは別に設け

られます。また、運営組織には女性で構成される「女性班」が位置づけられています。そのほか避難所には、衛生管理、安全対策、プライバシー保護などさまざまな課題があります。

閩危機管理課

☎9833・2751



▲夜間の避難所居住スペースの様子

日 ごろの備えは大切です。市では防災訓練や防災講演会なども行っていますので、参加して意識を高めましょう。9月には静岡県・三島市・函南町総合防災訓練も予定されています。

防災講演会「求められる

災害時における対応行動

「自らの問題として考えてみよう！あなたならどうする!?」

時3月10日(日)午後1時30分から

内災害時の自主防災組織活動、避難所運営など、さまざまな

立場から防災の課題について考えます。

閩危機管理課 ☎9833・2751

シェイクアウト訓練

時3月11日(月)午前10時

内地震による揺れを感じたという想定で、その場で約1分間、

まず低く(低姿勢に)、頭を守り、動かない、という行動

をする訓練です。

対学校、企業、団体、自治会、個人※事前登録をお願いします

申・閩危機管理課

☎9833・2751

※講演会、訓練について詳細は広報みしま2月1日号12ページをご覧ください



提供：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議



▲シェイクアウト訓練の様子